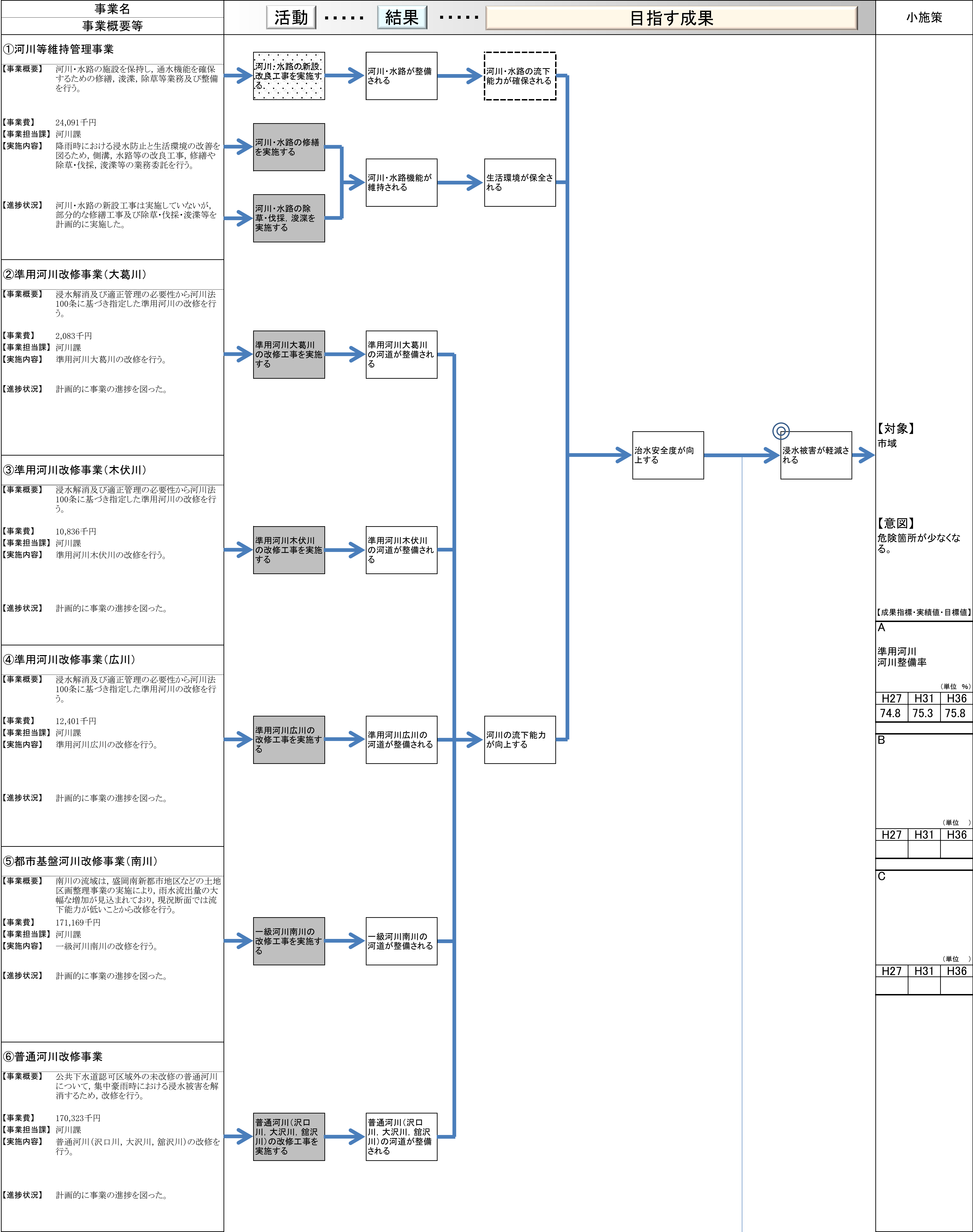


【別紙】
ロジックモデルシート(平成27年度実績評価)

施策コード	8	施策名	安全・安心な暮らしの確保	小施策 主管課名	河川課
小施策コード	8-1	小施策名	危険箇所の解消		



事業名	活動 結果 目指す成果			小施策
事業概要等				
⑦水路占用事務				
【事業概要】	準用河川・水路の機能の維持及び利用の適正化を図るため、条例等に基づき占用物件の審査及び許可を行う。			
【事業費】				
【事業担当課】	河川課			
【実施内容】	占用許可申請 H26 141件 H25 102件 H24 110件			
【進捗状況】	占用許可申請 117件			
⑧河川台帳整備事業				
【事業概要】	河川法で定められた準用河川の河川台帳整備を行うもの。			
【事業費】	0千円			
【事業担当課】	河川課			
【実施内容】	(H27未実施) 準用河川指定延長 L=27.457km 河川台帳整備済み延長 L=10.290km			
【進捗状況】	予算配当が無く未実施。			
⑨急傾斜地崩壊対策事業				
【事業概要】	市内には急傾斜地崩壊危険箇所が218箇所あり、岩手県が主体となって実施する急傾斜地崩壊対策事業に対して、事業費の一部を市が負担する。			
【事業費】	0千円 (H28～2,000千円繰越)			
【事業担当課】	河川課			
【実施内容】	県が実施する急傾斜地崩壊対策事業に対して、事業費の一部を負担する。			
【進捗状況】	市債のため、事業費の支出はなかったが(H28～繰越)、岩手県において、つなぎ地区、山岸一丁目地区において詳細設計等を実施し、事業の進捗を図っている。			

準用河川・水路の 占用物件の審査 及び許可を行う			準用河川・水路機 能を阻害しない占 用物件が設置され る		準用河川・水路の 機能の維持及び 利用の適正化が 図られる		準用河川・水路が 適正に機能する	
			占用物件の位置、 構造等が把握で きる					

準用河川の河川 台帳を整備する			河川施設の構造 や管理地境界が 明確になり、適正 な河川管理がで きる		地域住民からの施 設管理に係る要望 や、災害時の初動 に適切な対応が可 能となる		準用河川が適切に 管理される	

岩手県に負担金を 支出する			岩手県が急傾斜 地崩壊対策事業を 実施する		急傾斜地崩壊対 策施設が整備され る		急傾斜地の安定 が図られる		急傾斜地の崩壊 が防止される	

【対象】 市域			【意図】 危険箇所が少なくな る。			【成果指標・実績値・目標値】		
A								
準用河川 河川整備率								
(単位 %)								
H27	H31	H36	H27	H31	H36	H27	H31	H36
74.8	75.3	75.8						
B								
(単位)								
H27	H31	H36	H27	H31	H36	H27	H31	H36
C								
(単位)								
H27	H31	H36	H27	H31	H36	H27	H31	H36